

平成29年12月5日

報道機関各位

旭川市旭山動物園
園長 坂東 元

環境フォーラム「命を伝え 未来へ繋ぐ」の開催について

この度、旭川市旭山動物園と市民団体「繋ぐのは命プロジェクト」が共催する環境フォーラム「命を伝え 未来へ繋ぐ」を以下のとおり開催します。

つきましては、周知への御協力と当日の取材及び報道をよろしく申し上げます。

日 時：平成29年12月17日（日）午後1時00分～午後4時00分
場 所：旭川市大雪クリスタルホール・国際会議場（旭川市神楽3条7丁目）
内 容：マレーシア・ボルネオ島の現状を伝えるとともに、旭山動物園が行っている「ボルネオへの恩返しプロジェクト」の進捗状況を報告する内容となります。
※このフォーラムは、平成29年市民の企画提案による協働まちづくり事業（旭川市）により開催するものです。

出席者：旭川市旭山動物園長 坂東 元、写真家 横塚 眞己人
共 催：繋ぐのは命プロジェクト・旭川市旭山動物園・ボルネオ保全トラストジャパン
後 援：旭川市教育委員会
定 員：150名（入場無料）
申 込 先：旭川市旭山動物園 TEL 0166-36-1104
そ の 他：フォーラムに関する詳細は、別紙チラシのとおりです。

（問合せ）

旭川市旭山動物園

担 当 鈴木（悠）

電 話 0166-36-1104

FAX 0166-36-1406

命を伝え

未来へ繋ぐ



横塚真己人 (よこつかまこと) 写真家。

1957年、横浜生まれ。横浜市在住。
日本写真家協会会員。
ボルネオ保全トラストジャパン理事。

大学卒業後、雑誌編集者を経て写真家になる。
1985年から1994年まで沖縄県の西表島に移り住み、イリオモテヤマネコをメインに「命のつながり」をテーマとした撮影活動を続ける。
1996年から活動を海外に移し、マレーシアのボルネオ島などで、「命のつながり」をテーマにして熱帯雨林や自然と文化、環境問題など幅広い撮影活動を続けている。
2003年5月、毎日放送/TBS系列「情熱大陸」に出演。

主な著書に、
「ゾウの森とポテトチップス」(そうえん社)
第59回青少年全国読書感想文コンクール
小学校中学年の部・課題図書。
および、2014年「児童福祉文庫推薦作品」に選定。
「熱帯雨林のコレクション」(フレーベル館)
国連生物多様性の10年日本委員会推薦
「子ども向け図書」の選定図書。
「ゆらゆらチンアナゴ」(ほるぷ出版)
第21回日本絵本賞受賞
「どこにいるのイリオモテヤマネコ」(小学館クリエイティブ)
第50回「夏休みの本」選定図書 など多数。

<http://undbj.jp/activity/books.html>
<http://www.j-sla.or.jp/recommend/natsuyasumi-50.html>

12月17日(日)

13:00 ~ 16:00 (開場 12:30)

会場 旭川市大雪クリスタルホール国際会議場

旭川市神楽3条7丁目

入場無料 (先着150名) 事前申込みを受付いたします。
※当日参加可。満席の場合は、お断りさせていただきます。

申込み先 旭川市 旭山動物園
TEL. 0166-36-1104



坂東 元 (ばんどうげん)

1961年、旭川市在住
旭山動物園 園長
ボルネオ保全トラストジャパン理事

1986年酪農学園大学酪農学部獣医学修士課程卒
同年5月 旭川市旭山動物園就職
1995年飼育展示係長
2004年副園長
2009年園長

平成9年の「こども牧場」から「べんぎん館」「あざらし館」「ちんぼんじー館」「レッサーパンダ舎」「エゾシカの森」「きりん舎かほ館」などすべての施設のデザインを担当、数々のアイデアを出し具体化してきた。
また手書きの情報発信やもぐもぐタイムなどのソフト面でも係の中心となり具体化、システム化を図ってきた。
現在は、とどりの村の設計を手がけている。

ボルネオでの活動も本格化しており、マレーシア国サバ州での野生生物レスキューセンターの建設に着手し第一期工事を終える。

著書
「動物と向きあって生きる」 角川学芸出版
「旭山動物園へようこそ」 二見書房
「夢の動物園」 角川学芸出版
「ヒトと生き物 ひとつながりの命」 道友社

プログラム

講演 [横塚真己人] 熱帯雨林とポテトチップス

講演 [坂東 元] ゾウの未来はヒトの未来

ディスカッション

共催



繋ぐのは命プロジェクト



<https://www.facebook.com/>
繋ぐのは命プロジェクト-1731038570526523/



旭川市 とうふづかん



特定非営利活動法人
ボルネオ保全トラスト・ジャパン

後援 旭川市教育委員会